

井上 夏

Inoue Natsu

【出身中学校】

酒田市立第三中学校

高校/商業

酒田市生まれ。21歳で結婚し井上家へ。3人の子どもを育てながら農場の経営、商品開発、SNSでの情報発信などを担当。まさに井上農場の広告塔。



カッコいい農業をしようよ

井上 貴利

Inoue Takatoshi

【出身中学校】

藤島町立藤島中学校

(現鶴岡市立)

高校/農業

鶴岡市渡前生まれ。平成29年度は全国稲作経営者会議の副会長と青年部部長を兼任。また、山形県青年農業士に認定される。地域の活動にも熱心で、平成29年赤川花火大会では大会会長を務める。



貴利さん

自分にとって農業は当たり前之选択でした。

夏さん

自分に合った仕事ができる楽しい！

「子どもの頃から父親の姿を見てきたから、高校卒業と同時に農業の道に進んだのは当たり前でしたね。」と話す井上農場の井上貴利さんは、庄内平野の米づくりをリードする専業農家さん。農場代表の父・馨さん、10名のスタッフと共に、米・トマト・小松菜を栽培しています。

奥様の夏さんは、いわば井上農場の広告塔。持ち前の明るさで、スタッフ皆で開発した加工品を販売したり、SNSで情報発信したりしています。「農業っていうと土を触っているイメージが強いと思うのですが、実際には加工品を考えたり、パッケージデザインを考えたり、食べ方を提案したり、お客様に直接販売したりという仕事もあるので楽しいですよ。自分に合っているなって感じます。」と夏

さん。それに応えるように貴利さんも、「農業には一人一人に可能性がある。」と話します。「農業は、米や野菜だけでなく、果物や花もあるのでとても幅が広い仕事です。例えばいちごが好きならいちごを作ればいいわけで、自由に好きなことができるんです。だから職業的に、とても可能性のある仕事だと思いますね。」

そんなお二人に夢を聞いてみました。「夢というわけではないですが、来年農場を会社組織にするので、しっかり農場経営をしていきたいですね。」と貴利さん。「私はハワイにボン菓子の直営店を作りたい。東京支店も作って中2の娘が大きくなったら任せたい！」と夏さん。楽しく真面目にカッコよく。そんな言葉が浮かんだ井上夫婦でした。

目標  
農場スタッフが一丸となつて取り組む喜んでもらえるものづくり。



井上夫妻にQuestion /

Q. 中学生の頃は何部でしたか？

貴利 バスケ部です。小学校の頃から始めて高校もバスケ部でした。社会人になってからも30歳まで続けましたよ。

夏 バレーボール部です。小3から始めて今も続けていて、今のママさんバレーが一番楽しい！全国大会に出場しました！

Q. 今、お気に入りの品を教えてください

貴利 う〜ん、お気に入りには特に。大切なのは家族とスタッフです！

夏 ポータブルデジタルオーディオプレーヤーです。音楽なしではられないので、仕事している時も家事をしている時もいつも音楽を聴いています！

お気に入り毎日楽しく！



井上農場のトマトと加工品



トマトの加工品は、ジャムとドライトマト。お米の加工品は、日本酒、甘酒、ボン菓子。スタッフみんなで商品開発をしています。 ※ボン菓子はお米に圧力をかけてふくらませた駄菓子

井上農場が主に作っているもの



米 (47ha)



小松菜 (36a)



トマト (19.8a)